

# 東京圏の高齢化危機

野村総合研究所顧問  
増田寛也

- \* 到来する若者が激減する時代
- \* 少子化問題を克服したフランスとの違い
- \* 人口減を生む東京というブラックホール
- \* 今後10年で加速する東京圏の高齢化
- \* 問題は高齢者施設の収容能力
- \* 抜群に高い東京圏の介護関連費用
- \* 介護は人材不足が大問題に
- \* 高齢化に向けた4つの対策
- \* 地方への移住環境を整備する
- \* 長期で不可欠な人口の安定化



**柴生田** それでは開会いたします。（拍手）  
今日はあいにくの土砂降りでございますが、よく集まっていたいただいて感謝しております。

ここ何年も毎年お迎えしている増田先生においでいただきました。去年は地方消滅という大変ショッキングなお話ございましたが、東京は人口が増えているけれども、もつと大変なことがあるということでした。今日はその東京の高齢化危機ということで、そのところを詳しくお話しいただきたいと思えます。また、世間でもこの問題はたいへん話題になっておりますので、皆さんにも興味を持っていただけたと思います。

（拍手）  
それでは増田先生よろしくお願ひいたします。

**増田** ご紹介いただきました増田でございます。よろしくお願ひします。

今日お話しいたしますのは東京圏の高齢化危機ということで、昨年からのずっと一連の話のことです。わが国は人口が極端に減っていく時期を迎えています。昨日の朝刊に、おととい総務省のほうで発表した人口動態調査が出ました。1月1日現在の住民票で日本の総人口、各県の総人口がどうなっているかを、半年たちました7月の初めに発表します。今年の1月1日時点で前年に比べて、総人口は過去最多の27万人ぐらゐが減っているということが出ていたかと思えます。県別でいちばん減っておりますのは北海道で、その次が新潟、静岡ということになっております。